

社会資本整備審議会における検討とこれまでの施策展開

諮問 (H17.6.30)

「新しい時代の都市計画はいかにあるべきか」

持続可能な都市を構築するための都市・生活インフラの整備の推進方策

答申(H19.7.20)

「新しい時代の都市計画はいかにあるべきか」

下水道小委員会とりまとめ「新しい時代における下水道のあり方について」

答申に基づく施策展開
(例)

○下水道浸水被害軽減総合事業(H21年度創設) ○下水道総合地震対策事業(H21年度創設) ○下水道長寿命化支援制度(H20年度創設)

社会経済情勢の変化

<下水道分野>

- 建設から管理運営の時代への移行
- 施設の老朽化
- 執行体制・財政のひっ迫
- 技術革新(水・資源・エネルギー活用等)
- PPP/PFI手法の多様化

<国内動向>

- 東日本大震災発生
- ゲリラ豪雨の頻発
- 成長戦略の加速
- インフラメンテナンスの推進
- ICTの急速な進展

<国際動向>

- 人口増加
- 都市化の進展
- 国際的な水インフラ需要の急増

ご検討頂きたい事項 「新しい時代の下水道政策はいかにあるべきか」 →「下水道小委員会(仮称)」を設置し、検討を頂きたい

- 財政・人材の制約の中で、平常時・非常時共に最適な下水道サービスを持続的に提供していく取組方策
- 水・資源・エネルギーの観点から、環境にやさしい地域・社会づくりに向けた推進方策
- 都市部における住民の生命・財産や経済活動を守るための浸水対策のあり方と取組方策
- 下水道が有するポテンシャルを活かし、我が国産業の国内外における事業展開を推進していくための方策